



サービス方法論
ISO 14001:2015の場合
環境
マネジメントシステム (EMS)

ISO 14001:2015 の概要

ISO 14001:2015 は、組織がさまざまな方法で環境パフォーマンスを向上できるように支援します。資源の効率的な利用と廃棄物の削減により、競争上の優位性を獲得し、関連するステークホルダーの信頼と要求

- 健康と安全の問題に対する責任を組織全体の計画の一部として統合する
- 環境問題を統合的な方法で特定、管理、監視、制御する。
- 組織は、大気など、その事業に関連するすべての環境問題を考慮できます。公害、上下水道問題、廃棄物管理、土壌汚染、気候変動緩和と適応、資源の利用と効率。

キックオフ

キックオフミーティングは、プロジェクトの実行に関するコミュニケーションと計画を立てるための重要なツールです。障害を最小限に抑え、計画された時間とコスト内でプロジェクトを完了します。

キックオフミーティングの議題は次のとおりです。

- プロジェクト計画のディスカッション - これには、責任と責任についてのディスカッションが含まれます。利害関係者。プロジェクトのマイルストーンと成果物
- サービスの範囲と認証の範囲
- 法的および規制上の要件

コアチームの創設

- EHSリーダーの任命
- 環境管理者の任命
- 内部監査人の任命

ギャップ分析

このフェーズでは、ギャップ分析を実施して、現在の実践がどれだけ当てはまるかを-確認します。要件に沿っています。あなたの現在の実践はこれらに照らして検証されます4つの参照基準。

- ISO 14001:2015 標準要件
- 法律、法定、規制上の要件
- クライアントの要件
- 内部ポリシーと手順

この分析の結果は、ギャップ分析レポートの形式で表示されます。このレポートは機能しますプロジェクトのリマインダーのアクションアイテムのリストとして。

EMS 啓発トレーニング

EMS 意識向上トレーニングは、貴社の従業員に対して実施されます。トレーニングこのセッションは、従業員が知識を獲得し、ISO 14001:2015 の概念を理解できるように支援することを目的としています。組織の環境改善に向けてプロセスと実践-を調整する パフォーマンス。スタッフが訓練を受けていれば、彼らは考え、行動し、貢献することができます。目標を達成すること。

アスペクトおよびインパクトレジスター

リスク管理手順は文書化され、リスク管理の参考として使用されます。すべての部門-責任者と協議してリスクを特定しました。当社は ISO 31000 技術を使用して、特定されたリスクを特定し、文書化し、優先順位を付け、定量化します。このステップではアスペクトを作成しますそしてインパクトレジスター。適切な緩和計画は、次の階層を使用して特定されます。 リスクレベル、側面、影響に基づいた危険管理（リスク管理）。このようなアクションの結果は計算され、記録され、評価され、文書化されます。

文書化

当社の専門家が、ポリシー、プロセス、SOP、作業指示書、および必要な記録をリストアップします。ISO 14001:2015 に従って定義および文書化されています。各部署と協議し、機能責任者は必要な文書を作成します。これにSOPが続きます。チームが情報を操作して記録するために使用できる記録テンプレート。

コントロールを確立する

ポリシー、プロセス、SOP が文書化され、収集される記録のリストが完成したらリストに記載されており、担当者が特定され、そのような活動について訓練を受けている場合、必要性が生じます。そのようなプロセスの効率を運用、監視、レビューすることです。


内部監査員研修

ISO 14001:2015 内部監査人 (IA) トレーニングは、特定された担当者に提供されます。これトレーニングでは、IA の必要性を分析し、IA を計画およびスケジュールし、監査を準備できる人材を養成します。チェックリストを作成し、IA を実施し、観察結果を文書化して上層部に報告する 管理。

内部監査

当社の専門家が、御社の内部監査チームによる内部監査の実施を監督します。これ内部監査は、システム内にまだ存在するギャップを特定し、そのレベルを実証します。認証審査に臨む準備ができていること。この監査は組織に次の機会を与えます。認証監査に進む前に、すべての不適合を特定して修正します。


根本的な原因 分析 (RCA) および是正措置




内部監査、クライアントまたは第三者の監査中に特定されたすべての不適合、または側面および影響記録、事故調査報告書、ニアミス事件、環境検査、管理ウォークスルー、その他の情報源をリストし、RCAに報告する必要があります。最適な単一パッチや並列パッチアプローチなどの手法を使用して実行されます。最適な修正および是正措置が実施され、そのような措置の有効性が保証されます。是正措置報告書（CAR）を通じて文書化され、レビューされます。当社の専門家が出席します チームと一緒にプロセスをガイドします。

マネジメントレビュー ミーティング (MRM)

MRMは、すべてのEMS関係者が予定された間隔で集まり、レビューを行う機会です。以下の議題について話し合い、行動を計画します。


- 
- 環境側面および影響登録
 - あらゆる情報源からの監査結果と不適合。未解決の項目を解決するためのアクションプラン。
 - 廃棄物管理
 - 汚染試験レポート (空気、水、土壌)
 - システムの改善
 - 必要なリソースとトレーニング
 - 改善の機会、システムに必要な変更

認定審査: ステージ 1




準備レベルが適切なレベルに達すると、認定プロセスが開始されます。が始まります。認証機関 (CB) の任命された監査人は、次の方法で準備状況を検証します。ステージ 1 監査。これには、監査人がポリシー、プロセス、SOP、HIRA、重要な事項をレビューすることが含まれます。運用記録、IA および MRM 記録。CB の期待からの大きな逸脱 この時点で必要な修正を行うよう通知されます。これではチャンスが減ります 認証監査中の重大な不適合の調査。TOPCertifier はすべての利害関係者と連携し、監査がスムーズに完了するよう監督します。

認定審査: ステージ 2



ステージ 1 監査が正常に完了すると、監査人は詳細な監査を開始します。組織の QMS システムの実践と文書化。TOPCertifier は次のようになります。監査要件について従業員を訓練し、自信を持って監査に臨むことができるようにします。私たちの専門家が立ち会い、監査を円滑に進めるために必要なあらゆる手段を支援します。TOPCertifier は、監査中に特定された不適合をチームが解決できるよう支援します。認証監査が正常に完了すると、TOPCertifier はすべての担当者と連絡を取り合います。関係者が最終証明書を起草、承認、発行します。

コンプライアンスの継続



TOPCertifier は、組織のコンプライアンスへの取り組みの一部となり、定期的なコンプライアンスの遵守を支援します。必要なトレーニング、システムのサポートと更新、内部および外部の監査の間隔そして定期的に認定を更新します。